		3 1 3
--	--	-------

令和3年度 理科

教科	理科 科目 生物 単位数 2単位 年次 3年次												
使用教科書	改訂版 生	改訂版 生物 (数研出版)											
副教材等	ニューステージ新生物図表 (浜島書店) ニューグローバル 生物基礎+生物 (東京書籍)												

1. 担当者からのメッセージ(学習方法等)

分子生物学を中心とした現代生命科学の成果は医療や農業などの分野でも応用され、私たちはその恩恵を受ける状況になっています。生物の共通性と多様性、細胞を中心とした進化やエネルギー獲得系のしくみ、遺伝子のはたらき、環境応答、生態系などをデータや実験を通して科学的に理解・探究する力を身につけて、目覚ましく発展する生命科学に対応できるようにしてください。

2. 学習の到達目標

- 1 「生物基礎」との関連を図りながら、生物や生物現象を更に広範囲に取り扱い、生物学的に探究する能力と態度を身に付けさせる。
- 2 生物学の基本的な概念や原理・法則の理解を深めさせ、科学的な自然観を育てる。
- 3 観察・実験を通して自然を科学的に探究する能力を育てる。さらに、実験に対する目的、仮説、準備、方法、結果、考察、発展という手順に従ったレポートを作成する能力を育てる。
- 4 命の営みを学習することで生命に対する畏敬の念を育て、生命を尊重する精神を養う。

3. 学習基準 (評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b : 思考・判断・表現	c :観察・実験の技能	d:知識·理解
	生物や生物現象に関	生物や生物現象の中	生物や生物現象に関	生物や生物現象に関
<i>₩</i> H	心や探究心をもち、主	に問題を見出だし、探究	する観察、実験などを行	する基本的な概念や原
観点	体的に探究しようとす	する過程を通して、事象	い、基本操作を習得する	理・法則について理解を
点の	るとともに、科学的態	を科学的に考察し、導き	とともに、それらの過程	深め、知識を身につけて
趣	度を身につけている。	出した考えを的確に表	や結果を的確に記録、整	いる。
上		現している。	理し、自然の事物・現象	
日			を科学的に探究する技	
			能を身につけている。	
壶	学習状況の観察	学習状況の観察	学習状況の観察	学習状況の観察
評価	ノートやワークシート	ノートやワークシート	ノートや実験レポート	ノートやワークシート
	の記述	の記述	の記述	の記述
方法	探究活動の記録、発表	探究活動の記録、発表	観察・実験の記録	観察・実験の記録
広		定期考査の結果	定期考査の結果	定期考査の結果

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。

学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4. 学習の活動

学	単元	W 77 L	主な評価の観点					77 mm 1 NI
期	元名	学習内容	a	b	c	d	単元(題材)の評価規準	評価方法
前期	生殖と発生	植物の配偶子形成と発生	0			0	a:動物とは異なる植物の生殖や発生過程を知ることで生物の多様性を理解しようとする。 b:生殖細胞ができる。また発生の過程との過程を変更ができる。また発生の過程をができる。また発生のいる。とを実証的をは異なることを実証的を表別である。とは物の発生過程について、資料を必ずしている。を理しての発生の過程をがある。などでの発生ので成している。を理解している。発生のしくなことがである。としてなり、また過程をではない。というなどになって、また過程をではない。というなどになって、また過程を理解している。というなどになって、また過程を理解している。	学習、イークの変形では、対しては、対しては、対しては、対しては、対しては、対しては、対しては、対して
	生物の環境応答	動物の刺激の受容と 反応		0	0		a:動物は環境の変化を受容する受容器をもつさともに、神経系など生物体のに対しているともの巧みな制御機構や調境を維持しよいることを意欲的に理解し、探究したする。とするによる行動の発達と神経系のの発達とが導いる。とず習によるで、発達と神経系のの異なが導きといる。をでは物のが、大田とのの地に対したが、大田とのは、大田とのでは、大田とのでは、大田とのは、大田とのは、大田とのは、大田とのは、大田とのは、大田とのでは、大田とのでは、大田とのは、大田とのは、大田とのは、大田とのは、大田とのは、大田とのは、大田とのは、大田とのは、大田とのでは、大田とのでは、大田とのは、大田といいは、大田とのは、大田とのは、大田とのは、大田とのは、大田とのは、大田といいは、大田とのは、大田とのは、大田といいは、大田とのは、大田とのは、大田とのは、大田といいは、大田といいは、大田とのは、大田といいは、大田といいは、大田とのは、大田といいは、大田とのは、大田といいは、大田といいは、大田といいは、大田といいは、大田といいは、大田とは、大田とは、大田といいは、大田といは、大田といは、大田といいは、大田といいは、大田といいは、大田といいは、大田といいは、大田といは、大田といは、大田といは、大田といは、大田といは、大田といいは、大田といは、、は、大田といは、大田とは、大田といは、、田は、田は、大田といは、大田といは、、田は、田は、田は、田は、田は、田は、田は、田は、田は、田は、田は、田は、田	学習状況 探究活動 ノート・ワ ークシート 観察・実験
		動物の行動	0					定期考査
		植物の環境応答				0		
	生態と	個体群と生物群集	0				活動と自然破壊の関連性について考察し、自然保護・環境保全の意義を実感として理解しようとするとともに、主体的に行動できるような意識をもつ。 b:生態系の構造や働きを、物質循環・エネルギーの流れの観点から考察し、表現することができる。	学習状況 探究活動 ノート・ワ
		生態系の物質生産とエネルギーの流れ		0				ークシート観察・実験定期考査
	環境		0	要因について、科学的に探究し、的確に記録、整理している。 d:生態系の構造や働きと、その平衡のしくみを理解している。				

生物の進化と	生命の起源と生物の変遷	0	0	0		a:生物分類の必要性を理解し、その歴史的大分類の視点がどこに置かれていたのかを把握しようとする。 b:実際に確認できない長大なスケールの時間に対しても、対比をすることで概要を把握できる。 c:遺伝子浮動による遺伝子頻度の変化をシミュレーションし、その過程を的確	学習状況 探究活動 ノート・ワ ークシート 観察・実験
系統	生物の系統				0	に記録、整理している。 d:現在では系統に基づく視点からの分類 法が最も妥当性があるものとして承認 されているという事実を理解してい る。	定期考査

※ 表中の観点について a:関心・意欲・態度 b:思考・判断・表現

c : 観察・実験の技能 d : 知識・理解

※ 原則として一つの単元(題材)で全ての観点について評価することとなるが、学習内容(小単元)の各項目において重点的に評価を行う観点(もしくは重み付けを行う観点)について〇を付けている。